

名古屋 文化情報

2021
1・2
January / February

No. 396
NAGOYA
Cultural
Information

随想／加藤 恵利子 (ヴォーカル)

視点／創立50周年を迎えた名古屋二期会

この人と…ズーム・アップ／刈馬 カオス (劇作家・演出家)

ピックアップ／アール・ブリュットの時代

いとしのサブカル／山形 みらい (日本サバ協会 会長)

新型コロナウイルス感染拡大の影響下の
名古屋市文化振興事業団の取り組みについて



2021

1・2

January / February

Contents

名古屋市民文芸祭 小・中学生の部 受賞作品…………… 2

随想 「芸術」のススメ
 加藤 恵利子(ヴォーカル)…………… 3

視点 創立50周年を迎えた名古屋二期会…………… 4

この人と…ズーム・アップ
 刈馬 カオス(劇作家・演出家)…………… 6

ピックアップ
 アール・ブリュットの時代 …………… 8

いとしのサブカル 名古屋の「道」に魅せられて、私が形成されました
 山形 みらい(日本サバ協会 会長)…………… 9

新型コロナウイルス感染拡大の影響下の
 名古屋市文化振興事業団の取り組みについて…………… 10

おしらせ…………… 12

「なごや文化情報」編集委員

- 上野 茂 (ナゴヤ劇場ジャーナル編集長)
- 杵屋六春 (長唄唄方 名古屋音楽大学講師)
- 鈴木敏春 (美術批評・NPO法人愛知アートコレクティブ代表理事)
- 濱津清仁 (指揮者)
- 山本直子 (編集・出版 有限会社ゆいぼと代表)
- 吉田明子 (人形劇団むすび座 制作部長)

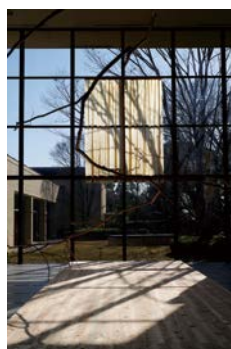
表紙

写真作品

ひずみ、反響する声

(2019年/ラテックス、枝、木材/三重県立美術館エントランス)

いかにその空間に寄り添い、作り上げることができるのか。あたかもそこにあったかのように感じた気配を具現化する。それは時を感じさせることのない静寂な「風景」であり、そして記憶の「風景」となる。



撮影者:尾崎芳弘

伊藤 千帆 (いとう ちほ)

略歴

- 1998年 名古屋造形芸術大学美術II類卒業(現・名古屋造形大学)
- 2015年 個展(ガレリア・フィナルテ/名古屋市)
- 2019年 個展(ギャラリーラウラ/日進市)
- 2019年 「バランドスケープ "風景"をめぐる想像力の現在」/三重県立美術館
- 2020年 個展(なうふ現代/岐阜市)

インスタグラム chihonen

「2019年 名古屋市民文芸祭」
 (第七十回名古屋短詩型文学祭) 小・中学生の部
 詩の部 受賞作品より ※受賞時の学校・学年で掲載しています。

◆名古屋市会議長賞◆

「幸福の色」

名古屋市立御幸山中学校1年

土方 瑞葉

私は空虚だった

ふと窓の方を見た 特に理由はない

髪の間から外の色が目に入った

その世界は美しかった

この世界は美しかった

私は忘れていた

光の美しさも 緑の美しさも 空の美しさも

必死すぎた 生きることに

その人間達は美しさを塗り潰していた

この人間達は美しさを塗り潰していた

私は伝えたい

貴方に伝えたい この美しさを

ガラスのように透き通るこの色を

その世界の幸福は透明だ

でもこの世界の幸福は確かにある

今もこの世界は美しい

随想

「芸術」のススメ



かとう えりこ
加藤 恵利子(ヴォーカル)

名古屋市出身。名古屋音楽大学声楽学科卒業。平成30年度 名古屋市文化振興事業団 第34回 芸術創造賞受賞。Facebook、Instagram、Twitter、ブログ『うた、恋ふれば・・・』公開中。

どんな「芸術」にトキメきますか？ 私は歳を重ねるごとに、トキメク芸術は増加中。その中でも最初に虜になった芸術は音楽でした。というわけで、私と音楽との出会いから色々書いてみようと思います。

音楽に興味津々になったのは3歳から。きっかけはYAMAHAのエレクトーンで、弾いている時間が大好きでした。小学生の時には、音楽鑑賞の時間で聴いたクラシック音楽に感動し、初めて自分で買ったCDはドヴォルザークの「新世界より」。中学生の頃は、父の影響でよく聴いていた洋楽が益々好きになり、カーペンターズの「Close to You」などを歌詞を覚えて歌っていました。音楽の先生に誘われて3年生の時に合唱部に入部したものの、入るのが遅すぎて馴染めず数日で辞めることに。さて、この時点での将来の夢はエレクトーンの先生になること。ではいつから歌手を目指すことになったのか？ それは高校2年生の夏、「舞台上で歌う人になる！」と突然の進路変更宣言でした。そこから大急ぎで音大受験の準備～楽典の勉強に、初めてのピアノを習い始め、なんとか無事入学。在学中は日本歌曲を中心に勉強、4年生の時にはオペラ実習と、卒業

演奏会で憧れの愛知県芸術劇場で歌うこともできました。この間、歌漬けの毎日だったかということ、実はそうでもなくて、楽器専攻の仲間といることが多かった私は、弦楽器の友人から、レッスンでのピアノ伴奏を頼まれてドキドキしながらそれなりに弾いたり、管楽器の先輩が練習している試験曲にトキメいて(先輩に、じゃなくてゴメンナサイ)アルチュニアンズのトランペット協奏曲のCDばかり聴いている日もあったり…「声楽曲」だけではなく、心惹かれるままに色々な音楽に触れた4年間でした。では卒業後は声楽に専念したか？ というと、やっぱりそうではなくて、制作作業や演出助手、照明のキュー出しに受付スタッフ等、いわゆる舞台を支える側の経験もしました。こうして改めて書いてみると、本当に沢山のことを経験させていただいたのだなぁと心から感謝。無駄な時間など一つもなく、全て今の私に繋がっています。これらと同じくらい大切だったのは、幼い頃から、心の栄養剤である「芸術」に触れてきたこと。そのおかげで今でも元気に舞台上で歌うことができます。そして、これからも…。

今後トキメク「芸術」と共に、どうぞ健やかにお過ごしくださいませ♪

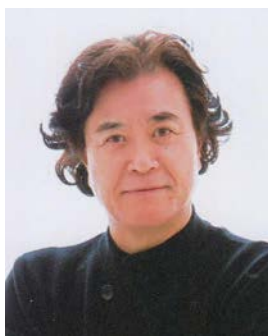
創立50周年を迎えた名古屋二期会

—奥村晃平理事長に聞く—

一般社団法人名古屋二期会が2020年、創立50周年を迎えた。「名古屋の音楽家によるグランドオペラの上演」「名古屋の音楽文化の向上」を目的に、加藤義也、洞谷吉男、加藤典子ら6人の音楽家が中心となり「二期会名古屋支部」の名称で1970年に産声を上げた。

(まとめ:上野 茂)

奥村
晃平
理事長



〈二期会 主なオペラ上演記録〉

西暦	作品名
1971	フィガロの結婚
72	セヴィリアの理髪師
73	コシ・ファン・トゥッテ
74	修禅寺物語
75	昔噺人買太郎兵衛 / 炭焼姫
76	真説カチカチ山 / タヒチ島事件
77	魔笛
79	フィガロの結婚
80	ちゃんちき
81	マルタ
82	電話 / おこんじょうり
83	ドン・ジョバンニ
84	浮かれのひょう六機織唄
85	蝶々夫人
86	シャーロック・ホームズの事件簿
87	ヘンゼルとグレーテル
88	ヘンゼルとグレーテル
89	魔笛
90	カルメン
91	フィガロの結婚
92	修道女アンジェリカ / ジャンニ・スキッキ ピーター・グライムズ
94	ねじの回転
95	カルメル会修道女の対話
98	天国と地獄
99	魔笛
2000	コシ・ファン・トゥッテ
01	フィガロの結婚
02	藤戸
03	カルメン
04	修道女アンジェリカ
05	なよ竹の輝夜
06	ヘンゼルとグレーテル
07	ドン・ジョバンニ
08	森は生きています
09	真夏の夜の夢
10	ラ・ボエーム
11	天国と地獄
12	フィガロの結婚
13	セヴィリアの理髪師
14	こうもり
15	宗春
16	蝶々夫人
17	椿姫
18	ちゃんちき
19	ホフマン物語

旗揚げオペラは「フィガロの結婚」

初のグランドオペラ上演は翌1971年11月18日、会場は新築間もない愛知県勤労会館(2010年3月閉館)。作品はモーツァルトの代表作「フィガロの結婚」だった。管弦楽は福村芳一指揮の名古屋フィルハーモニー交響楽団(1966年発足)、フィガロは洞谷吉男、スザンナは加藤典子、伯爵は大野静龍、伯爵夫人は吉見康子、ケルビーノは渡部千枝が演じた。

渡部によれば「公演は大盛況で、新聞にも大きく掲載されました」。以来、名古屋二期会は72年に「セヴィリアの理髪師」、73年には「コシ・ファン・トゥッテ」と毎年グランドオペラの上演を続け、全国でも屈指の音楽家団体に成長した。

悩みのタネは「経費」と「男声」

現在の名古屋二期会会員(正会員、準会員)は165人、うち男声は22人。悩みのタネは男声が少ないこと。その数少ない男声会員で、2010年度から理事長を務める奥村晃平さん(73歳)に聞いた。

奥村さんは愛知県立芸術大学、同大学院、さらにウィーン国立音楽大学を卒業した音楽エリート。名古屋二期会への入会は1975年。76年の創作オペ



1971年「フィガロの結婚」



1992年「ピーター・グライムズ」

ラ「タヒチ島事件」でいきなり主演に抜擢され、翌77年の「魔笛」でも主役のパパゲーノを演じた。

「主役を演じる喜びはありましたが、キャストをけん引する責任も重大でした。忘れられないのが2007年の『ドン・ジョバンニ』です。公演前日のゲネプロで舞台から落ち、一瞬気を失いました。幸いだったのは鎧よろいのような貴族の衣裳や、分厚いブーツだったこと。骨折は免れましたが、全身打撲で立つことさえもままならない。主役でなければリタイアしていたでしょうね」と苦笑する。

そんな奥村さんに、理事長としての重責が加わった。「最も大変なのが(助成金を受けるための)文化庁への陳情です。膨大な書類の提出、そして年間2作のオペラを上演し、地域文化の向上に貢献することが条件。助成を得なければ運営は立ち行かない。音楽家としての活動を続けながら理事長職を兼務するのは、やはり大変なことだと実感しています」



2009年「真夏の夜の夢」



1989年「魔笛」



1985年「蝶々夫人」

印象深い「宗春」「ちゃんちき」

名古屋二期会ではグランドオペラだけでなく、「ニューイヤー」「フレッシュ」「室内オペラ」「歌の玉手箱」など多種多彩な声楽コンサートを年間10公演ほど開催。秋に行われる本公演がグランドオペラの上演だ。左ページの〈主なオペラ上演記録〉をご覧ください。奥村理事長が「最も印象深いオペラ」とするのが2015年の「宗春」と18年の「ちゃんちき」である。この2作に共通するのは「名古屋を題材にした創作作品」であること。

名古屋二期会創立45周年記念公演として上演されたオペラ「宗春」は、2005年の「なよ竹の輝夜」以来の名古屋二期会による創作オペラである。芸どころ名古屋、の源流となった尾張藩主・徳川宗春を描いた名古屋発のグランドオペラ。麻創けい子さん（台本）、中田直宏さん（作曲）、西川右近さん（演出）ら名古屋ゆかりのスタッフが周到な準備を重ねて上演に漕ぎ着けた。



2015年「宗春」

奥村理事長は「宗春公の人間像をめぐって、脚本の完成までは紆余曲折がありました。名古屋市民にとって、宗春公への思いがいかに強いかを思い知りました」と苦笑しながら振り返る。ちなみに宗春をダブルキャストで演じたのは奥村理事長と客演の井原義則さん、敵対する将軍・吉宗を演じたのは水谷和樹さんと塚本伸彦さんだった。そして名古屋二期会は同作の上演で「地方のトップレベルの音楽事業団体」という文化庁の認定を受けたのである。

2018年のオペラ「ちゃんちき」（台本・水木洋子、作曲・



2018年「ちゃんちき」

團伊玖磨）は、1962年の日本舞踊西川流「名古屋をどり」の際に創作、初演。それをグランドオペラにバージョンアップさせ、1980年に名古屋市民芸術祭の目玉作品として、名古屋二期会が上演。以来38年ぶりの再演になった。歌詞、セリふがすべて名古屋弁で演じられるのが特長。演出は岩田達宗さん、指揮は田中祐子さん、現代舞踊の倉知可英さんが振付を担当した。

◦Withコロナ時代、にできること

2020年10月には、創立50周年記念オペラとして「魔笛」を上演する予定だった。ところが同年1月、恒例の「ニューイヤーコンサート」を行った直後、新型コロナウイルス感染症が世界を覆った。オペラ、コーラスなど、多人数が声を張り上げるステージは、感染リスクが非常に高いとされた。名古屋二期会は創立以来最大の困難に見舞われた。

奥村理事長は「これまでに経験したことのない事態。なんとしても名古屋二期会を守りたい。それには、ささやかでも優れた音楽ステージを作り聴衆を引き付けること。それが理事長として最大の仕事だと思います」。

名古屋二期会では2021年2月13日、3月17日、4月16日の3回にわたり「Withコロナ時代」に則した声楽コンサートを電気文化会館で開く。人々の生活から音楽が消えることは決してない。

公演の問い合わせはTEL052(380)5416、名古屋二期会。

※写真撮影はどれも中川幸作さん。

この人と... ズーム・アップ

「ズーム・アップ」は、現在活躍中の若いアーティストを取り上げる「この人と...」の特別企画です。



劇作家・演出家

か る ま

刈馬 カオスさん

平成25年度第19回劇作家協会新人戯曲賞、平成27年度名古屋市民芸術祭賞、平成27年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞の他、数多くの賞に輝く刈馬カオスさん。令和2年9月に名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞を受賞し、10月末には『異邦人の庭』で応募277作品の中から第7回せんだい短編戯曲賞大賞を受賞。今、東海地方で最も注目されている劇作家・演出家の刈馬さんにお話を伺いました。(聞き手: 吉田明子)

俳優志望から作・演出家へ

一演劇の道に進んだきっかけを教えてください。

僕は1977年に名古屋市瑞穂区で生まれました。大学は大阪で、卒業後、東京で1年間過ごしましたが、それ以外はずっと名古屋市とその近郊で生活しています。

子どもの頃からなんとなく俳優になりたいと思っていました。僕が中学のころ、バンドをやっていた姉がメジャーデビューをしてトレンドドラマの主題歌を歌っていたんです。そんなこともあり、ドラマを観て俳優になりたいと思うようになりました。それで、名古屋大谷高校で演劇部に入って3年間活動し、近畿大学の文芸学部芸術学科演劇芸能専攻で専門的に学んだという流れです。高校生の時は作・演出は全然していなかったんですけどね。

そして大学を卒業し、東京で劇作家・演出家の平田オリザさんが率いる青年団に入団しましたが、1年で名古屋に戻りました。大学の時に、高校の演劇部の後輩が脚本が無いと困っていたので、試しに一本書いたら、そちらのほうが評価されるようになっていきました。青年団には俳優として所属していたのですが、脚本を書く方が楽しくなっていた時です。当時、名古屋で活躍していた演劇プロデューサーの大橋敦史さんから大須にある老舗小劇場・七ツ寺共同スタジオの30周年記念公演の作・演出のオファーをいただきました。

それが2002年に上演した『ソウルガーデン』という作品でした。それをきっかけに、作・演出に活動を切り替えようと帰ってきました。



2002年『ソウルガーデン』(会場:七ツ寺共同スタジオ)

名古屋を拠点に活動を開始し、現在へ

一名古屋での活動の始まりですね。刈馬さんは2003年に劇団メガトン・ロマンチックの代表として活動を開始し、4年間の活動で16作を発表。2009年に新プロジェクト「テラ・インコグニタ」を始動させ、2012年から演劇ユニット刈馬演劇設計社を立ち上げ活動されています。

2020年10月末の『異邦人の庭』公演は、8月に新型コロナウイルス感染拡大の影響で無観客上演・映像配信をした舞台をもう一度上演されました。

もともと8月の公演は観客有りでの上演と有料配信を組み合わせる予定だったのですが、観客有りでの上演を延期し、無観客での上演を有料配信しました。これまでDVD販売もしていたので抵抗はなかったのですが、技術的に大変でした。DVD収録の時はお客さんの邪魔にならないところにカメラを置くのですが、今回は結果的に無観客だったのでどこからでも撮影できるという状況になり、どこまでやったら映像作品になり、どこまでなら演劇作品になるのかという匙加減を、カメラマンと相談しながら作業しました。「本来こういう画角で観るんだ」というのが伝わらないと演劇じゃないなということが、やってみてわかったことです。また、無観客上演の配信にすると、元々笑いをとる作品ではないのですが、なんとなく（お客さんが）その場にはいないとなると、演劇性が薄れる感じがしました。

でも、配信の時にどういう形なら演劇性を保ちながら作品として出せるのかというのを学びましたし、これから多くの演劇人がそこに向かい合っていかなければならないのではないかと思います。

ただ、配信には若干の抵抗があり、やはり劇場で観てほしいと思います。劇場に来たお客さんが過去作品のDVDを買うのとは全く違いますから。特にこのコロナ禍において思ったんですが、演劇の面白さの一つに観客を拘束できるということがあります。これだけ配信ができる世の中になりましたが、ある一つの場所に集まってもらい、携帯電話の電源を切ってもらい、飲食も禁止して1~2時間に渡り人を拘束するというのが面白い。

『異邦人の庭』は非常に静かなお芝居で、観客が少しでも物音を立てるとその世界が壊れそうになるような感じの作品に仕上げている、終わった時にお客さんに「ああ疲れた」と思わせたいという狙いがあります。それは映像ではできないし、家でDVDを観ていてはできない感覚で、劇場でこそ体験してほしいのです。そういう意味ではアトラクションに近いと思っています。体験するという、自分もその場に参加している、共有している感覚。一緒に共有しているのが演劇の面白さだとあらためて思いました。



2020年『異邦人の庭』(会場:G/pit)

創作に関して

—社会的な題材をテーマにした作品が多いようですが、創作のきっかけはどんなところにあるのですか。

題材を探すのはノンフィクションの本やドキュメンタリーとか

ニュースとか。そういうものが多いんですが、ある時、ふとひっかかる瞬間があり、その時点ではお芝居になるかどうかかわからないけれど、自分の中で何かがひっかかるんです。例えば宗教を題材にした『神様から遠く離れて』という作品の場合、「人が何かを信じるってなぜなんだろう?」と思いはじめるわけです。そこから関連する資料をたくさん読みだします。

自分が創作をするにあたっては、自分がなぜそれに取り組むのかということに対してずっと自問自答をし続けています。最初は直感から入り、では、何故それを書こうとしているのかを自分に問い続け、そうして発見した自分なりの答えを、きちんと人に届けることを心がけています。

また、僕はわりと書きながら絵を思い浮かべるといふ癖があります。若いころはお話の内容は全く決まっていなかったのに、「あの俳優が真ん中奥からゆっくり歩いて来る」という絵だけがあって、そこから書いたこともありました。絵は重要ですね。



2019年『神様から遠く離れて』(会場:千種文化小劇場)

未来に向けて

—これからの活動の展望をお教えてください。

自分の作品を他地域に持っていきたいと思います。それは自分の仕事だけではなく、自分と一緒に作品を創ってくれている俳優やスタッフの仕事を他の地域の人々に観ていただきたいからです。

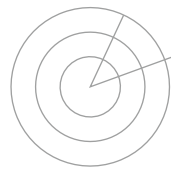
あとは、後進の育成であったり、こういう大変な状況だからこそ、自分の創作ばかりではなく、この地域の演劇や文化芸術の将来を考える責任を感じています。

—最後に一言お願いします。

文化や芸術に携わる以上、ある理想を求めてはいます。僕は社会的題材を扱うことが多いのですが、啓蒙をするつもりではなく、しかし、問題提起はしたいと思っています。「これはおかしくないか」ということは常に思っていたいし、おかしなことはちゃんと正されてほしい。「世の中そんなもんだよね」みたいな、冷めたことや悟ったようなことは言いたくない。だからこういう作品創りをずっと続けているんだと思います。

今、文化芸術は非常に苦しい状況にあると思います。新型コロナウイルスもそうですが、この地域ならばあいちトリエンナーレの問題もあります。しかし文化芸術に触れずに生きていく人はいないと思いますし、人生を豊かにするために、ぜひ多くの方が文化芸術に触れて欲しいと願っています。

ピックアップ



アール・ブリュットの時代

最近「アール・ブリュット」という言葉が広まっています。障害を持った人たちが発表する作品を指す言葉として流布しているようですが、それは誤解されて伝わっているように思われます。



あいちアール・ブリュット展 会場の風景 2020年9月
手前は大谷正樹さんの作品

アール・ブリュット(Art Brut)という言葉は、ピカソなどと同時代に活躍したフランスの画家ジャン・デュビュッフェ(1901～1985年)が、従来の西洋美術の伝統的価値観を否定して、アール・ブリュット(生の芸術)を提唱したものです。ヨーロッパでは精神障害者の描く絵などが取り上げられて、前衛的な仕事として追求された経緯があり、差別的な意味が多分にあるため、アール・ブリュットを拒絶する作家もいます。このように、本来、「アール・ブリュット」という言葉は、既成の芸術の価値を変革する非常に前衛的な言葉です。この背景を知れば、日本のように「障害者の芸術」という意味で用いることは差別的なことで誤りであるということがご理解いただけると思います。

ある意味で、社会福祉に関わる人々こそ、アール・ブリュットの直訳である「生の芸術」という言葉を深く知ることが出来るのではないかと思います。芸術は、人に障害があるかどうかといった属性ではなく、その作品そのものに投影される人間の生命によって生まれるものです。何をもって「障害」というのか、それが問題なのです。私たちは作品を「畏敬の心」をもって観ることでデュビュッフェのいう「アール・ブリュット」の言葉の意味を知ることになります。



名古屋を中心に活動する水上卓哉さんの「またここで会おう」
あいちアール・ブリュット展出品作品 2020年9月

愛知県では2014(平成26)年「あいちアール・ブリュット展」(主催:愛知県、共催:名古屋市文化振興事業団)を名古屋市民ギャラリー矢田で開催。以降、毎年開催されています。また愛知県内では小牧市や豊橋市、豊川市でも開催されるようになりました。名古屋市内では愛知芸術文化センターで「あいちアール・ブリュット優秀作品特別展」が2021年3月16日(火)から3月21日(日)まで開催される予定です。ぜひ、作品に出会い、触れてみてください。(鈴木 敏春)

いとしの サブカル

名古屋の「道」に魅せられて、 私が形成されました

日本サバ協会 会長 やまがた 山形みらい

日本サバ協会会長、ハイウェイタレント、都市間高速道路研究者。人があまり考えつかない発想力で周囲を楽しませるのが得意なため、テレビ・ラジオ・トークイベントで活躍中。著書『東名・名神高速道路の不思議と謎』（じっぴコンパクト新書）『一度は買いたいSA・PAの「五つ星みやげ」』（サンエイ新書）がある。



「サービスエリア（SA）&パーキングエリア（PA）のファンクラブを作る！」そう決意し、2014年、秋の気配が深まる10月下旬に設立しました。

その頃、私は、当時全国800ヵ所以上もある高速道路のSAとPAを5年程かけて全て回りました。

ファンクラブの名前は、SAの「サ」、PAの「ぱ」の頭文字からとって『日本サバ協会』としました。当初は高速道路のSAとPA（以下、サバ）が好きな人が集まる「ファン協会」として設立したのですが、高速道路の魅力を発信する書籍の刊行や、SNSでの情報発信など私の個人活動がメディアを通じて認められるにつれて、協会の規模が大きくなっていました。

今では、国土交通省が認める『高速道路会社の私設応援団』にまで成長し、高速道路会社からは、「活動をできるだけ長く、高速道路がイヤになるまで続けて欲しい」とまで言われました。協会の存在を認めていただいていることだけでもありがたく、感謝しています。

日本サバ協会は、利用者と高速道路会社とを繋ぐパイプ役としての活動も行っています。高速道路利用者は通行料を払って高速道路を走っているという気持ちから、どうしても過度な期待や、サービスを要求しがちです。高速道路会社も、利用者に気持ちよく高速道路を利用してもらうにはどうしたらいいかを考えているのですが、様々な事情で実現できないこともあります。そうした実情を踏まえ、日本サバ協会が両者の間に入り、互いにどこまで歩み寄れるかという、意見交換会を開催しています。



名古屋高速のキャラクター「ナコちゃん」と一緒に名古屋高速キャラクター「ナコちゃん」が、2020年の名古屋高速設立50周年を記念して立体化。あまり登場する機会が無いので、とてもレアなキャラクターですが、特別に会うことができました。名古屋の皆さんに愛されるキャラクターになると私も嬉しいですね。

高速道路は2005年の日本道路公団民営化以降、大きく変わりました。サバにご当地グルメの食べられるレストランや、時には宿泊したり入浴できる施設を設けるなど、それぞれの個性を発揮して、利用者に喜んでもらえるような取り組みを積極的に実行してきましたが、その裏では様々な苦労を重ねて今に至っています。日本サバ協会はそういった表に出ない部分にも注目し、高速道路会社を応援する立ち位置でいたいと思っています。

私は3歳の頃、名古屋市に引っ越してきて、それからずっと名古屋人です。名古屋市は「程よく田舎」で「程よく都会」という二つの異なる性質を併せ持っているため、住みやすいと感じています。また、名古屋市は都市環境整備がしっかりとなされていて、道路が広くて走りやすく、一般道も頭上の名古屋高速からの圧迫感を感じないため、ドライバーが快適に走行できると思います。

そんな名古屋の道路を見ているうちに、気が付くといつの間にか、趣味が「道路」になっていました。もし名古屋に住んでいなければ、道路が趣味にはならなかったでしょうし、日本サバ協会も誕生していなかったことでしょう。

都心部の道路は都市高速である名古屋高速のおかげで円滑に流れていて、平日の^{したみち}下道での渋滞を、名古屋高速によってほぼ未然に防げているところが素晴らしいと感じます。実は、名古屋高速こそ、私にとって道路が好きになった「原点」なのです。私はそんな高速道路のある名古屋の街が好きです！生涯この土地から離れることはないでしょう。

私は、高速道路の路線自体を万博の会場に例えた場合、サバはその路線の文化を発信している高速道路のパピリオンのような存在だと思っています。海外の高速道路ではここまで个性的なことは行われていないので、サバは日本の文化と言っても過言ではないと思います。

日本初の高速道路の名神高速は、海外から優れた技術者を招いて日本の風土や自然の線形に合わせて造られた素晴らしい道路です。今度は、高速道路のサバから海外に向けて日本の文化を発信していくのはいかがでしょうか？日本のサバはいい意味でとても異質なもので（笑）、世界中の人に興味を持ってもらえると思いますよ。

新型コロナウイルス感染拡大の影響下の 名古屋市文化振興事業団の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界中に拡散し、多くの方が犠牲になるなど、その猛威は世界を震撼させています。都市封鎖（ロックダウン）や海外渡航の制限、社会活動の自粛要請などの対策が行われながらも感染は拡大し、有効な治療薬やワクチンの国内での実用化には今に至っていません。

日本においても、7～8月に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックの延期、緊急事態宣言の発出など緊急対策に追われる中で、文化芸術関係者の皆様は活動継続の場を失い、計り知れないダメージを受けました。同時に、市民の皆様が文化芸術を自由に享受できない事態が危惧されました。

当事業団といたしましては、こうした苦しい状況下だからこそ、予定した事業を漫然と中止しない道を探り、さらに文化芸術関係者の皆様の活動機会を増やすことを通じて、市民の皆様にも魅力的な文化芸術をお届けすることに努めています。

今からでもお楽しみいただけるものをピックアップしましたので、是非チェックしてみてください。

ウェブサイトの活用

SMILE × SMILE NAGOYA

[名古屋市文化振興事業団公式YouTubeチャンネル]の開設

文化芸術に触れる機会が減少していく中、市民の皆様インターネットを通じて文化芸術に触れる機会を提供するため、令和2年5月に事業団ウェブサイトにて公式YouTubeチャンネルを開設しました。オリジナルミュージカル「山三と阿国」や名古屋の演劇人が贈る名作劇場「煙が目にしみる」、事業団管理施設で収録した様々な作品を公開しています。ご自宅でお気軽に、文化芸術の動画コンテンツをお楽しみください。

<2020年11月30日時点>

掲載コンテンツ数：111作品

ポッシブル!@WEB:NAGOYA

オンラインイベントの開催

文化芸術活動を自粛・縮小せざるを得ないアーティストの皆さんに活動の場を提供するとともに、市民の皆様にご自宅で文化芸術に触れていただくため、インターネットを活用し、アーティストと双方向で交流できるクラフト講座や視聴者参加型ライブなどを開催しています。

<2020年11月30日時点>

開催イベント数：コンピュータで音楽あそびをしよう（講師：押山晶子）はじめ50件

イベント参加者数：570人

NAGOYA Voicy Novels Cabinet

だれでも気軽に文芸作品に親しんでいただくために開設したインターネット上の本棚です。事業団ウェブサイトにてオリジナル短編小説を募集し、採択された作品を、名古屋を中心に活動する劇団の俳優による朗読とともに公開中です。読む人に「元気」「勇気」「感動」を届ける作品をお楽しみください。

審査員：麻創けい子（劇作家・演出家）

（50音順）奥山景布子（小説家）

柴野理奈子（児童書作家）

清水良典（文芸評論家・愛知淑徳大学教授）

内藤洋子（エッセイスト）

はせひろいち（劇作家・演出家）

広小路尚祈（作家）

藤真知子（童話作家・日本児童文学者協会理事）

山本直子（編集・出版 有限会社ゆいぽおと代表）

<2020年11月30日時点>

小説掲載数：40件

閲覧数：14,402件



見飽きた街は、見慣れた街

広小路尚祈（作家）



朗読：高場哲也（劇団うりんこ）

見慣れた街が時々、見飽きた街だと感じられることがある。街並みの所々がほころび、そこがまた縫い合わされて、修復されて、少しだけ変化することはしばしばあるけれど、ほんやりとしていたら気づかないほどにその変化は小さく、緩やかであるので、この街はいつまでも変わらない、なんて思うのだろう。

夕方、歩道橋の上で足を止めて、通りを眺めると、いつでも車が行ったり来たり。道がすいていけばすいスピードで走っていくし、混雑していれば、停まって、ちょっと動いて、また止まって、のろのろ。その脇の歩道の上を、高校生が横三列に並んでおしゃべりをしながら、自転車走っている。おいしい、並走はダメだ、交通違反だぞ、迷惑だぞ、そんなことを口の中で呟っていると、散歩をしているおじいさんの脇

なごや子どものための巡回劇場テイクアウト

毎年、夏休みや春休みなどに開催してきた「なごや子どものための巡回劇場」は、やむなく夏休み公演を中止いたしました。そのかわりに、実施を予定していた団体の協力で、無観客上演を収録した作品を事業団ウェブサイトにて2021年1月11日まで公開中です。劇場でご鑑賞いただく公演をまるでお持ち帰りするように…是非ご自宅でお楽しみください♪

<2020年11月30日時点>

公開作品：名古屋オペラ協会／音楽劇“葉っぱのフレディ”
越智インターナショナルバレエ／「白鳥の湖」全幕
セントラル愛知交響楽団／ハローオーケストラ
狂言共同社／狂言がやってきた!

閲覧数：5,006件



NAGOYA GROOVIN' SUMMER “Virtual”

毎年夏に、学生や社会人のジャズバンドがオアシス21で繰り広げる「NAGOYA GROOVIN' SUMMER」ですが、やむなく中止いたしました。そのかわりに、出演予定だった高校で、秋～冬に部活動を再開した各学校にて収録し、プロアーティストの演奏とミックスした作品を、2021年2月に事業団ウェブサイトで公開予定です。お楽しみに♪

事業団×ANET×藤田麻衣子「文化でナゴヤを応援！きみのあした♪プロジェクト」

名古屋市出身のシンガーソングライター・藤田麻衣子さんが聴く人の心に寄り添う応援ソングを制作してくれました。オリジナルミュージックビデオを配信するとともに、愛知芸術文化協会（ANET）の皆さんとの協働で、応援ソングからインスピレーションを受けた動画作品を制作します。現在、撮影を着々とすすめていますので、事業団ウェブサイトをチェックしてみてください♪



舞台公演

朗読劇「病は気から」

毎年、広く市民の皆様から出演者を募り上演してきた「市民参加の朗読劇」を、今回は名古屋で活動する少人数の俳優による公演に切り替えて上演します。フランス古典喜劇を代表する劇作家モリエールの傑作風刺コメディ「病は気から」を、客席数を半数にし、コロナ対策を講じて上演いたします。
日時：2021年1月16日(土)11:00、16:00

(開場は各回1時間前)

会場：昭和文化小劇場

料金：1,000円 事業団友の会会員・障がい者等／800円
構成・演出：岡田一彦

出演：末吉康治、黒河内彩、森島美玖、多嘉山秀一
結崎涼、和田紀彦、youu-ji、佐々木和代、岩田和丈

I ♥ STAGE CONCERT～ミュージカル&オペレッタ～

1985年の音楽劇「三文オペラ」を皮切りに、毎年、この地域の文化芸術関係者の総力を結集してミュージカルやオペレッタなどの企画公演を開催してきました。今年もE.カールマンの名作オペレッタ「伯爵令嬢マリツァ」を開催する予定でしたが、やむなく中止しました。そのかわりに、オペレッタやミュージカルの名曲を集めたガラ・コンサートを開催することといたしました。ミュージカルからは「サウンド・オブ・ミュージック」や「オズの魔法使い」などのナンバーを、オペレッタからは「天国と地獄」や「メリー・ウイドウ」などの名曲をお届けします。

日時：2021年2月20日(土) 14:00 ミュージカルステージ
21日(日) 14:00 オペレッタステージ

会場：青少年文化センター アートピアホール

料金：一般／4,000円

事業団友の会会員、大学生以下、障がい者等／3,200円

構成・台本・訳詞・演出：池山奈都子

音楽監督・指揮：小島岳志

管弦楽：セントラル愛知交響楽団

出演：ミュージカルステージ

春日井こずえ、高見侑加、永田萌

荒川裕介、市川太一、佐野文彦、塚本伸彦

オペレッタステージ

奥村育子、日比野景、やまもとかよ

市川太一、鍋木勇樹、川瀬邦成、塚本伸彦

イベント

NAGOYA POP UP ARTIST ショーケース・ライブ in 今池

審査を経てライセンスを取得したアーティストが、まちの各所でパフォーマンスを繰り広げる事業ですが、コロナ禍で休止して以来、なかなか再開の目途が立ちません。そこで、実行委員会が主催して、PRイベントを企画します。申し込み方法などチェックしてみてください。

日程：2021年2月27日(土)

会場：地下鉄今池駅構内

出演：ライセンスを持つアーティスト7組

フランスの劇作家モリエールの笑いあふれる傑作風刺コメディー!

朗読劇
病はガラの
 YAMAIWA KIKARA
 構成・演出 岡田一彦

2021年
1月16日(土)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、客席定員は半数以下の各回130席程度で実施予定。 **昭和文化的劇場**

11:00 (開場10:00) | 16:00 (開場15:00)

時間指定・自由席 | ※未就学児入場不可

一般 1,000円 友の会会員 障がい者等 800円

チケットぴあ TEL 0570-02-9999 | Pコード: 503-640

出演: 末吉康治、黒河内彩、森島美玖、多嘉山秀一、結崎涼、和田紀彦、youu-ji、佐々木和代、岩田和文

ミュージカル・オペレッタ珠玉の名曲をお届けするガラ・コンサート!

I LOVE MUSICAL & OPERETTA
STAGE CONCERT

構成・台本・訳詞・演出/池山奈都子 音楽監督・指揮/小島岳志
 管弦楽/セントラル愛知交響楽団

ミュージカル 日時 2021年2月20日(土) 14:00 (開場13:00)
 ステージ 曲目 『サウンド・オブ・ミュージック』より「私のお気に入り」他

オペレッタ 日時 2021年2月21日(日) 14:00 (開場13:00)
 ステージ 曲目 『メリー・ウィドウ』より「シャンソン」他

会場 名古屋市青少年文化センター・アートピアホール
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、客席定員は半数以下の各日340席程度で実施予定。

料金 <全指定席> ※未就学児入場不可
 一般4,000円 友の会会員・障がい者等・大学生以下3,200円

チケットぴあ TEL0570-02-9999 | Pコード: 190-620

チケット
 取り扱い

名古屋市文化振興事業団チケットガイド
 (名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク8階)

TEL 052-249-9387 (平日9:00~17:00/郵送可)

青少年文化センター、芸術創造センター、文化小劇場等、事業団が管理する文化施設窓口(土日祝日も営業)

※工事休館等がありますので、ウェブサイトでご確認ください。 主催: 名古屋市文化振興事業団

頼もしい味方をお探しですか?



集客・販促プランナー

アートディレクター

印刷コンサルタント

駒田印刷株式会社 TEL(052)331-8881

〒460-0021 名古屋市中区平和2-9-12 <http://www.kp-c.co.jp>

WE MAKE YOU MOVE
 感動をあなたへ

20Hz ← → 20kHz

A&V
 PRO AUDIO & VISUAL & NETWORK

舞台音響/映像設備
 設計・施工・保守・特注品製作・業務用機器販売

この領域を超えて最高のパフォーマンスを。

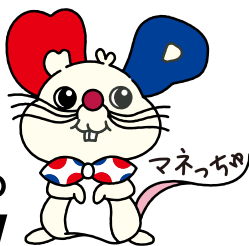
お客様に寄り添った先進のAVシステムを提案する
株式会社 エーアンドブイ
 〒464-0846 愛知県名古屋千種区城木町二丁目98
 TEL/052-761-5400 FAX/052-761-0909

公演・発表会の受付から制作業務全般まで、何でもご用命ください。美術展の受付も対応いたします。

業務内容

- ①舞台の企画・制作マネジメント
- ②イベントの企画制作
- ③芸術団体のコンサルティング
- ④舞台・イベントの運営

MANAGEMENT PRO
株式会社 マネージメント・プロ



〒461-0004 名古屋市中区東区葵2-11-22 アバンテージ葵ビル305

TEL:(052)508-5095

FAX:(052)508-5097

Web: www.mane-pro.com

E-mail: mane-pro@mane-pro.com

「ナゴヤ劇場ジャーナル」ではサポート会員を募集しています。

ナゴヤ劇場ジャーナル

◎年間6,600円で毎月お手元にお届けいたします。

◎毎月24,000部発行

※東海地方の演劇・バレエ・音楽公演、ホール、DM等にて配布